|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **総合的な学習の時間** | **第８学年** | **廿日市市立大野中学校** | **指導者　○○　△△** |

**単元名**

**本単元で育成する資質・能力**

**説明力・自己有用感**

**「志Ⅱ～自分の志をたてよう～」**

第８学年３組

生徒数　３０名

（男子１９名，女子１１名）

**日時**　平成２９年９月２２日(金)　５時間目　１３：２０－１４：１０

**場所**　８年３組　教室

**１　単元について**

**生徒観**

1. **総合的な学習の時間における資質や能力及び態度について**

６月実施のアンケートにおいて，「総合的な学習の時間では，自分で課題を立てて情報を集め整理して，調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。」という項目に肯定的な評価をしている生徒の割合は74.4％(県平均67.5％)と高く，主体的に取り組んでいる意識を持った生徒が多くいる。しかし，情報の収集「授業では，課題を解決するために，進んで資料を集めたり取材をしたりしています。」という項目では，46.3％(県平均39.9％)と，他項目より低い数値であった。この結果は，課題に対して活動して解決している意識が低いことを示しており，自らが必要とする情報を得て，それに対して自分の考えを持つことができれば，更なる「主体的な学び」の促進に繋がると考える。

**（２）　説明力の取組との関連**

「友だちと話し合うなどして，自分の考えを深めたり，広げたりしています。」で肯定的な評価をした生徒が76.8％(県平均77.5％)「自分の考えとその理由を明らかにして，相手に分かりやすく伝わるように発表を工夫しています。」で肯定的な評価をした生徒が62.1％(県平均59.4％)いた。交流することで，自分の伸びは実感しているものの，相手意識を持った説明については，不十分であると感じている生徒がいることを示していると考えられる。

**単元観**

　本校では，『ふるさと「大野」の自然や社会と人々についての探究的な学習を通して，事象を多面的に追究する方法を身に付け，自ら課題を見つけ，他者と協同して解決する中で，自己の在り方や生き方を考えることができる。』ことを，総合的な学習の時間の目標としている。

本単元は，職業観を育成し，自己の在り方や生き方を考える単元である。義務教育の後半段階にある生徒にとって，自分の将来について考えることは必要不可欠な学習であり，これからの進路選択や人生観に関わると考える。単元を通して，「人はなぜ働くのか」という問いを持たせ，周りの人々への聞き取り調査や事業所での職場体験学習を行い，活動から得た思いや考えを仲間と交流しながら，自己の在り方や生き方を考えさせていきたい。

また課題発見・解決学習においては，「情報の収集」と「整理・分析」に重きを置く。情報に対して自分の考えを持たせ，また，その変容を捉えさせていきたい。また，他者との関わりや協同的な活動を通して，自分の考えや概念に広がりを持たせていきたいと考えている。

**指導観**

**（１）指導方法の工夫について**

　「人はなぜ働くのか」という単元を貫く問いを持たせ，課題発見・課題解決学習を意識した学習内容を仕組んでいく。また，職場体験学習等を通して，友だちとの協同的な関わりとともに，異年齢の人々との繋がりの中での自分の変容が見取れるように，説明ツールやワークシートを工夫する。

**（２）説明力の取組との関連**

　グループ活動を意図的に取り入れ，自分の考えやグループの考え等を説明したり，交流したりする場を設定する。交流活動では，説明ツールを取り入れ，自分やグループの考えを，相手意識を持ってよりわかりやすく説明する力を育成したい。

**２　単元の構想**

**本単元の目標**

「人はなぜ働くのか」という問いに対して，他者との関わりの中で，意見を交わしたり，協同して課題の解決を図ったりする活動を通して，自分の考えを深め，これからの自己の在り方や生き方を考えることができる。

**本単元で活用する既習事項・小中の連携**

小学校

●(第３学年)ステキな町大野

●(第４学年)自分を見つめよう

●(第５学年)六年生へステップアップ

●(第６学年)西小ボランティア隊出動

中学校

●(第１学年)志Ⅰ～自分を見つめよう～

◎(第２学年)志Ⅱ～自分の志をたてよう～

〇(第３学年)志Ⅲ～自分の夢を実現させよう～

**他教科との関連**

・国語科「依頼状やお礼状を書こう」

目的や相手に応じた手紙を書くことができる。

・英語科「Presentation1　将来の夢」

将来の夢についての文章を理解したり，自分の夢について書いて発表したりすることができる。

・社会科「身近な地域の調査」

自分なりの根拠を入れた具体的な仮説を設定し，いつ・どのような方法で調査していくのかを考えた調査計画書を作成することが出来る。

・家庭科「家庭生活と地域との関わり」

家庭と家族関係について学習する中で，自分自身が家族の一員として役割を担っていることや，周囲の人々とのかかわりや人間関係の大切さに気付くことができる。

・道徳「われ，ここに生きる」

働くことの意義を自覚し，進んで世のため人のために尽くし，公共の福祉に貢献しようとする意識を持つ。

「あいさつ」

礼儀が相手を尊重する精神のあらわれであることを理解し，時と場に応じた適切な言葉遣いや言動を取ろうとする意識を持つ。

・特別活動「社会の一員としての私」「自らの進路選択を考える」

社会の一員としての自覚を持ち，ボランティア清掃活動などの社会参画をする。また，自己の適性について考える中で，進路の選択や実現に向け，計画立てすることかできる。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **単元の評価規準** | | | |
| 説明力  自己 有用感 | 学習方法 | 課題設定力 | ・適切な課題を見つけ，課題解決のための見通しをもって学習計画を立てる。 |
| 収集力・ 分析力 | ・課題解決への目的に応じて手段を選択し，情報を収集する |
| 思考力・ 判断力 | ・客観的事実を根拠に事象を理解し，自分の考えをもつ。 |
| 表現力・ 省察力 | ・相手や目的に応じて，表現方法を工夫し，自分の考えを明確にして，効果的に伝える。 |
| 自分自身 | 意思決定力 | ・学習内容や，学習方法を振り返り，次の学習によりよく生かす方法を考える。 |
| 計画力・ 実行力 |  |
| 自己理解力 |  |
| 将来展望力 | ・自分の将来を見すえ，具体的な夢や希望をもつ。 |
| 他者や社会との関わり | 他者理解力 | ・異なる意見や他者の考えを受け入れ，尊重する。 |
| 協同力 |  |
| 共生力 | ・自分と，自然・社会など環境との関わりから環境保全を考え，行動する。 |
| 社会参画力 |  |

**本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり**

　「対話的な学び」の場面で，説明ツールを活用し，お互いの考えを伝え合う活動を通して説明力の育成を図る。また，友達と関わり，お互いの考えを認め合う活動を通して自己有用感の育成を図る。

(全４４時間)

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **指導と評価の計画** | | | | |
| **次** | **時** | **学習内容** | **評　価** | |
| **評価規準**  **(評価方法)** | **説明力の育成**  **(評価方法)** |
| １ | ２ | 課題の設定①  ○ＡＩ（人工知能）の発展等，職業や仕事を取り巻く，現在や将来の社会状況を知る。  　ハウステンボスにある「変な  ホテル」で働くロボットたちの様子を見せ，人間ではなく，接客業までもロボット（ＡＩ）が担っていくことを知る。  ・　**10年後には大学を卒業する人の65％が今ない仕事に就くという予測があることを初めて知ったよ。**  **・　近い将来，もっとＡＩが僕たちの生活の中で活躍するようになるんだな。**  **だったら人間にしかできない仕事ってなんだろう？**  ○「なぜ人は働くのか」という問いに対して，今自分がどのように考えているかを説明する。  **「なぜ人は働くのか」というと，お金が必要だからだと思う。お金がないと食べ物も買えないし，何も買えないからだと思う。**  　○○さんは，「家族を養うため」と言っていたよ。僕はそんなこと考えていなかったけど，確かにお家の人は，僕たちのために働いてくれていることに気づくことができたよ。 | ・学習課題を発見し，課題解決の見通しを持つことができる。(生徒観察，発言)（振り返り）  ・「なぜ人は働くのか」という問いに自分の考えを持つことができる。(説明ツール)  〔自己有用感〕  ・他者との関わりの中で，クラスに貢献している意識を持ったり，他者の貢献を認めたりすることができる。(振り返り) | [説明力]  ・説明ツールを使い，自分の考えを説明することができる。（説明ツール，生徒観察，振り返り） |
| ２ | １ | 情報の収集①  整理・分析①  ○職業や仕事調べを通して，職業や仕事に興味を持つ。 | ・どのような職業や仕事があるかを知り，職業や仕事に興味を持つことができる。(ホワイトボード，  生徒観察) |  |
| ３ | ２  **僕は働いて「うれしかったこと」は，お金をもらえたときだと思っていたけど，お家の人にインタビューしたら，お客さんに喜んでもらえたときだって言っていたよ。実際に働いてみたらお家の人の気持ちがわかるかな？** | 情報の収集②  整理・分析②  ○身近な人への仕事インタビュー学習を通して，自分の予想している「働くこと」への概念と，実際に働いている人の概念の共通点や相違点に気づくことで「働くこと」を考えるきっかけを持つ。 | ・仕事インタビューをして，出た意見を分類し，整理することができる。(生徒観察)  ・「働くこと」について自分の考えを持ち，説明することができる。(振り返り) | 〔説明力〕  ・説明ツールを使い，自分の考えを説明することができる。（説明ツール・生徒観察・振り返り） |
| ４ | ３ | 情報の収集③  整理・分析③  まとめ・創造・表現①  ○各事業所に届ける自己紹介文の作成を通して，自分の適性や長所をレディネステストや他己評価から理解する。また，各事業所で自分の長所を生かして，自分が取り組みたいこと，頑張りたいことを考える。 | ・自分の性格や適性を客観的に理解することができる。(職業レディネステスト)  ・自分の長所を理解し，自分の長所や自分の考えを効果的に伝えることができる。(ワークシート)  ・職場体験学習を行う事業所について調べ，職種に応じて自分の長所を生かして，自分が取り組みたいことを伝えることができる。(ワークシート)  ・相手や目的に応じて表現方法を工夫し，自分の長所や取り組みたいことを効果的に伝えることができる。(自己紹介文)  **職場体験に行く事業所が決まったよ。事業所の人に，私のやる気を伝えるためにはどのように書いたらいいのかな？**  〔自己有用感〕  ・他者との関わりの中で，クラスに貢献している意識を持ったり，他者の貢献を認めたりすることができる。(振り返り)  　自分のいいところや長所が思いつかなかったけど，□□くんが「最後までちゃんとやるところ」って教えてくれたよ。そう思ってくれていてうれしかった。 |  |
| ５ | ４ | 情報の収集④  整理・分析④  ○スキル学習として  ①DVD職場体験ドキュメント「大人ってすごい」視聴  ②マナー講座  ③電話（アポイントの取り方）のかけ方  ④事前訪問での対応  を実施する。 | ・「働くこと」について自分の考えを持ち，説明することができる。（振り返り，行動観察，ワークシート）  ・社会で通じる挨拶のマナーを身に付けることができる。（生徒観察，振り返り）  ・社会で通じる電話のマナーを身に付けることができる。(生徒観察)  ・社会で通じる対応のマナーを身に付けることができる。（生徒観察，振り返り） |  |
| ６  **一緒に働く人とも，お客さんとも会話をしないと働けないと思うから，コミュニケーション能力がある人が求められると思うよ。** | １ | 課題の設定②  〇「働く人に求められる条件」という問いに対して，今自分がどのように考えているかを説明する。 | ・「働く人に求められる条件」について自分の考えを持つことができる。  (説明ツール) | 〔説明力〕  ・説明ツールを使い，自分の考えを説明することができる。（説明ツール，生徒観察） |
| ７ | 20 | 実行  情報の収集⑤  ○職場体験学習〔５日間〕 | ・積極的に他者と関わり，周りの人々と協力して活動に取り組むことができる。（行動観察，チャレンジブック）  ・「働く人に求められる条件」という問いに自分の考えを持つことができる。（チャレンジブック） |  |
| ８  **職場体験学習で働く人に求められる条件についてインタビューしてみて，○○さんがおっしゃった「Try and Error（挑戦と失敗）」が心に残ったよ。これからの意気込みや感謝の気持ちを伝えるにはどのように書いたらいいかな？** | ３ | まとめ・創造・表現②  〇職場体験学習での自分の活動を振り返る。  ○お世話になった事業所の方々に手紙を書くことを通して，人々への感謝の気持ちや，体験学習を通して学んだことや考えたことを振り返る。 | ・相手や目的に応じて表現方法を工夫し，体験を通して学んだことや自分の考えを効果的に伝えることができる。(ワークシート，生徒観察) | 〔説明力〕  ・相手や目的に応じて，表現方法を工夫し，自分の考えを明確にして，効果的に伝える。 (ワークシート，手紙の清書，行動観察) |
| ９ | １  ロボットではなく，人にしかできないことってないかな。 | 整理・分析⑤  〇「働く人に求められる条件」という問いに対して，職場体験を通して，今自分がどのように考えているかを説明する。  　職場体験先によって，大切だと言われたことや実感したことが違うんだな。それぞれの職場で体験した場面がわかりやすく伝わったよ。 | ・職場体験学習を通して感じた「自分が頑張りたいと思ったこと」を，根拠をもって説明することができる。  (説明ツール)  〔自己有用感〕  ・他者とのかかわりの中で，クラスに貢献している意識を持ったり，他者の貢献を認めたりすることができる。（振り返り） | 〔説明力〕  ・説明ツールを使い，自分の考えを説明することができる。（説明ツール，生徒観察） |
| 10 | ２ | 整理・分析⑥  〇「人にしかできない仕事」とは何であるかを考え，説明する。  ○「なぜ人は働くのか」という問いに対して，単元の学習を通して，どのように自分の考えが変容したかを説明する。  　私は，「みんなを笑顔にする」ために働くのだと思ったことを伝えると，グループのみんなが「そうだね。」と言ってくれました。わかってもらえて良かったです。  **職場体験学習を通して「なぜ人は働くのか」というと，やりがいを感じるからだと思いました。患者さんに「ありがとう」と言われたらすごくうれしかったし，もっとがんばろうと思いました。○○病院の人は，自分が成長するためだとおっしゃっていました。** | ・「人にしかできない仕事」について自分の考えを持つことができる。  (説明ツール)  ・「なぜ人は働くのか」という問いに自分の考えを持つことができる。(説明ツール)  〔自己有用感〕  ・他者との関わりの中で，クラスに貢献している意識を持ったり，他者の貢献を認めたりすることができる。(振り返り) | 〔説明力〕  ・説明ツールを使い，自分の考えを説明することができる。（説明ツール，生徒観察）  〔説明力〕  ・自分の考えを説明することができる。（振り返り） |
| 11 | ４ | まとめ・創造・表現③  ○事業所ごとで活動の様子や，インタビュー結果，本単元の問いである「人はなぜ働くのか」等についてまとめる。  **自分たちが体験したり，考えたりしたことを，地域の人々にも知ってほしいな。どのようにまとめたらわかりやすいかな？** | ・読む人や聞く人の興味を引くように表現方法を工夫し，活動の様子や自分の考えを明確に伝えることができる。(記事等，生徒観察) | 〔説明力〕  ・読む人や聞く人の興味を引くように表現方法を工夫し，活動の様子や自分の考えを明確に伝える。(記事等，行動観察) |
| 12 | １  　「仕事の内容や，苦労したことが具体的にかかれてわかりやすかったよ」と言われて嬉しかったよ。 | 振り返り  ①単元全体の振り返り  ○振り返りの項目について，記入する。項目は，次の５点とする。  ○学習方法に関する力  　○自分自身に関する力  　○他者や社会との関わり  に関する力  　○「貢献」について  　○学習する中で  　　・頑張ったこと  　　・残念だったこと  　　・成長できたこと  ②本単元の問いである「人はなぜ働くのか」について，自分の考えを持ち，説明する。  **「人はなぜ働くのか」という問いに，最初はお金のためだけだと思っていたけど，仕事インタビューや職場体験学習を通して，お金もだけど，自分のやりがいであったり，周りの人々に喜んでもらったりするために働くのだと思いました。** | ・学習活動について振り返り，自分の成長や課題に気づき，次の学習によりよく生かす方法を考えることができる。（振り返り）  〔自己有用感〕  ・他者との関わりの中で，活動に貢献している意識を持ったり，他者の貢献を認めたりすることができる。(振り返り) |  |

**単元末説明力問題**

《志Ⅱ～自分の志を立てよう～》では学習を通して「人はなぜ働くのか」を考えてきました。

学習を終えてあなたはどんなことを考えましたか。次の手順にそって書いてみましょう。

　【将来展望力】：働くことの意味を考え，今後の自分の生き方を考えるきっかけとする。

①　自分の考えが変わったところ，深まったところを書く。

②　なぜ変わったり，深まったのか，「仕事インタビュー」学習「職場体験」学習「新聞作り」

学習などで，体験したり，感じたりしたことを書く。

③　これから自分がどのように生活するか，生きていくのか学習を通して考えたことを書く。

最初私は，

仕事インタビュー学習で，職場体験学習で，新聞作り学習で，

これから私は，

**正答例**

①　最初私は，お金のために働くのだと思っていました。でも学習して，お金のためだけでは

なく自分の生きがいのために働くのだと思いました。

②１　最初に，仕事インタビュー学習で家の人に「働いて一番うれしい時は？」と聞いたら

どれか一つで○

「お客さんから感謝された時」と答えが返ってきました。私は「お給料が出た時」と予想し

ていたので，家の人の答えにびっくりしました。

②２　また，実際に職場体験学習で，大変だったけれど，お客さんに「ありがとう，頑張って

ね」と言われたときすごくうれしくてやりがいを感じました。

②３　新聞作り学習で「事業所の人が『仕事は自分の生きがい』と言われていた」と書いてある

のを見て，なるほどと思いました。

②　このようなことから，お金のためだけに仕事をするのではないと思いました。人から感謝さ

れたり，自分がやりがいを感じたりするから人は仕事をするのだと思います。だから仕事が自

分の生きがいになるのだと思います。

③　これから私は，自分の生きがいになるような仕事を探していきたいです。そのために自分の

長所や短所をしっかり見つめていきたいです。また人への感謝を忘れずに生活していきたいで

す。

**評価基準**

視点①　考えの変化，深まりが分かりやすく記述されている。

視点②　学習内容を根拠として記述してあり，考えたこととの整合性がある。

視点③　今後の自分の生き方・生活の仕方が記述してあり，考えたことと整合性がある。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Ｓ | ◎ | 視点①②③の記述があり，より具体的でわかりやすい。 |
| Ａ | ○ | 視点①②③の記述がある。 |
| Ｂ | △ | 視点①②③のうち，③が欠けている。 |
| Ｃ | × | 視点①②③のうち，③はあるが，①②のどちらかが無い。 |
| Ｄ | × | ＳＡＢＣ以外 |

**３　本時の学習**

1. **本時の目標**

職場体験やインタビューを通して学んだことをもとに，これから自分が頑張りたいことや

身につけたい力を考える。また，どのような場面でその力が必要なのかを根拠をもとに考える。

**めざす生徒の姿〔例〕**

・これから頑張りたいと思ったこと（身につけたい力）は，コミュニケーション力です。

　なぜなら職場体験学習を通して，他の社員の方やお客さんなど，どんな人とでも話せないといけないと感じたからです。お客さんに店を気持ちよく利用してもらうために，他の従業員の方と情報を共有したり，報告・連絡・相談したりできないといけないのだとわかりました。自分ひとりで考え行動するよりも，周りの人と連携することで，適切なサービスができ，お客さんに信頼してもらえると考えたからです。

めあて

職場体験学習を通して感じた「自分が頑張りたいと思ったこと」を，根拠をもって説明することができる。

ハイライトとなる「対話的な学び」の場面

　職場体験学習で体験したことやインタビューしたことをもとに，個々で考えた「働く人に求められる条件」をグループで交流し，５つに絞り，必要条件ととらえた根拠を考える。

　その根拠を全体交流の場で出し合い，交流する中で深めていく場面。

**②　本時の流れ**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **展開** | **学習活動** | **形態** | **○指導上の留意点**  **●努力を要する状況と判断される生徒への手だて** | **評価規準**  **（評価方法）** |
| 見  通  し  を  も  つ | １　前時の学習を振り返る。  **ぼくの職場ではこの５つが大切だと感じたけど，もっと必要な力があるのかな。考え直したいな。**  ２　本時のめあてを確認する。（５分）  **めあて**  ・職場体験学習を通して感じた「自分が頑張りたいと思ったこと」を，根拠をもって説明することができる。 | 全体 | ○「働く人に求められる条件」について，自分が一番大切だと思う項目に手を挙げる。 |  |
| 考  え  を  交  流  す  る | ３　「働く人に求められる条件」を考える。  ①グループで交流  （１０分）  僕は職場体験学習で「○○保育園」に行きました。そこで，「働く人に求められる条件」は笑顔，挨拶，全体を見る力，コミュニケーション，時間を守ることだと考えました。１つ目の笑顔は，園児たちが安心して接することができるよう，いつでも笑顔でいることが大切だと思ったからです。２つ目の挨拶は，園児や他の先生方など，接する人に明るくあいさつすることが仕事の基本で，大切だと教わりました。３つ目は…，４つ目は…です。５つ目は…です。  ②全体で交流する。  （１０分）  　・黒板と電子黒板に生徒（グループ）の考えを掲示する。  ・板書を見て交流する。 | グループ  全体 | ○前時に個人で考えた説明ツール「クラゲチャート」を使い，理由や根拠をあげて説明する。お互いに意見を聞いたり質問したりすることを通して自分の考えを深める。  ○役割分担（司会，書記，発表者）を各グループで決める。  ○どの仕事でも共通する事項を意識して友達の発表を聞き，グループで選んだ５つを，順位付けした理由とともに考える。  ●自分と同じ意見があったら，その人の名前をクラゲチャートにメモし，発表の際の支援にする。  〇指導者がどのような考えがあるか，生徒に発言させながらまとめる。 | ・「働く人に求められる条件」について自分の考えを持つことができる。  (説明ツール)  〔説明力〕  ・説明ツールを使い，自分の考えを説明することができる。（説明ツール，生徒観察） |
| 振  り  返  る  **めざす生徒の姿〔例〕**  ・これから頑張りたいと思ったこと（身につけたい力）は，コミュニケーション力です。  　なぜなら職場体験学習を通して，他の社員の方やお客さんなど，どんな人とでも話せないといけないと感じたからです。お客さんに店を気持ちよく利用してもらうために，他の従業員の方と情報を共有したり，報告・連絡・相談したりできないといけないのだとわかりました。自分ひとりで考え行動するよりも，周りの人と連携することで，適切なサービスができ，お客さんに信頼してもらえると考えたからです。 | ４　個人で自分の考えをまとめる。  　・「頑張りたいこと（身につけたい力）」を書く。（１０分）  ・ペアで，書いた振り返りを交流する。（５分）  ５．振り返り  ・ロボホン君登場  次時への見通しを持たせる。（５分）  《ロボホン君》  ・個人で本時の振り返りを書く。  　○○君の意見は理由がとてもわかりやすくて説得力もあって，「なるほどな」と思ったよ。  **ロボットではなく，人にしかできないことってないかな。** | ペア  「僕はいつでもどこでも誰にでも，大きな声で素敵な挨拶ができるよ。」  「僕はとっても我慢強いよ。簡単にあきらめたりしないよ。  壊れるまで働き続けるよ。」  「僕は丁寧に，正確に，仕事をこなすことができるよ。  単純作業なら僕に任せて！」 | 振り返りの視点  ・職場体験学習を通して考えたことや，本時の交流を通して自分に必要だと思った理由を書く。  ○理由があったかを確認しながら聞く。 | ・「これから自分が頑張りたいこと(身につけたい力)」について自分の考えを持つことができる。  (説明ツール)  〔説明力〕  ・自分の考えを説明することができる。（振り返り）  〔自己有用感〕  ・他者とのかかわりの中で，クラスに貢献している意識を持ったり，他者の貢献を認めたりすることができる。（振り返り） |

**③　板書計画**

**黒板**

９月２２日(金)

返り

グループでの話し合い

・全ての職業に共通するものを意識

・グループで順位付け

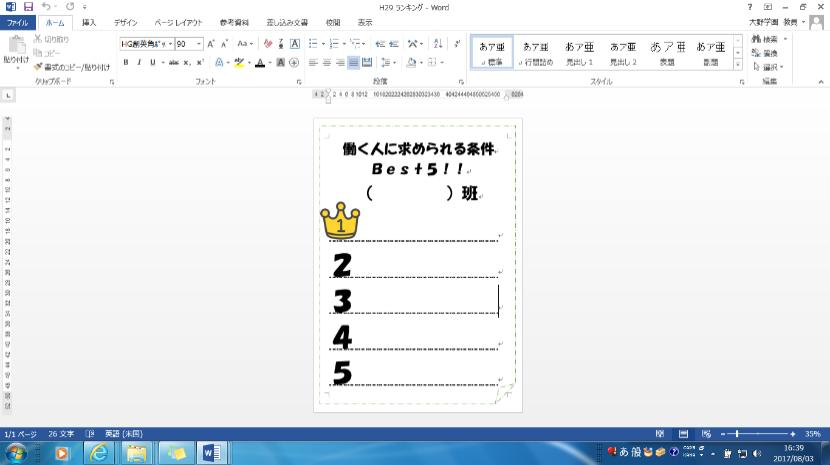
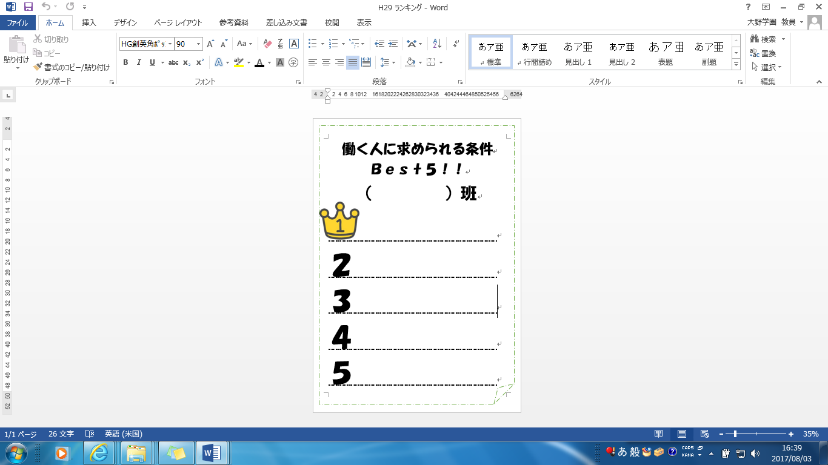
　（理由もつけて→発表）

めあて

・　職場体験学習を通して感じた「頑張りたいと思ったこと」を，

根拠をもって説明することができる。

振り返り



・これから頑張りたいこと（身につけたい力）

・理由

その他の班で出た意見

**電子黒板**

・生徒のワークシート